

はじめまして！ おかだ眼科です

開院の
ごあいさつ

おかだ眼科院長の岡田明先生は、幼稚園のときに病院に入院した経験から医師になることを決意。その後、理想の医師との出会いが眼科医への道を開きました。先生に、開院に寄せる思いを語っていただきました。

眼科一般・白内障・
緑内障・糖尿病網膜症

おかだ眼科

5月1日
開院予定



院長 岡田明 先生

●おかだあきら／昭和47年滋賀県生まれ。兵庫県神戸市で育つ。平成10年国立滋賀医科大学卒業。滋賀医科大学眼科科学講座助手、国立病院機構滋賀病院眼科医長、公立甲賀病院眼科医長を経て、平成24年「おかだ眼科」開院。
〈免許資格〉
●日本眼科学会認定専門医（平成15年）
●医学博士（平成16年）
●眼科PDT認定医（平成17年）
●日本眼科学会認定指導医（平成21年）
平成23年度には、医学と福祉に貢献した人に贈られる「湖医学会賞」を受賞。
現在、NPO法人アジア眼科医療協会理事。

国立滋賀医科大学などで勤務医をされていた14年間は、どの分野の治療を担っておられたのでしょうか。

主に失明の2大疾患である緑内障と糖尿病網膜症の診断・治療を行っていました。また白内障手術も多数手がけ、それらキャリアを生かし日本眼科学会認定指導医も取得。11年前からはインドのへき地グラムサラで、進行白内障に対して手術を行うボランティア活動にも継続して取り組んでおります。

クリニックの診療科目も同じでしょうか。

基本的と同じです。手術は主に白内障の日



インドのグラムサラで岡田先生たちが治療した患者さん(右)。今まで見えなかった指の本数が見えた瞬間です。

帰り手術を中心に行っていくつもりです。進行的な緑内障や網膜硝子体疾患に対する手術は日帰りでは難しいため、手術が必要と判断した場合、入院可能な病院に紹介いたします。

コンタクトレンズの処方
はされるのでしょうか。

まずは、眼の健康で困っている方々を、全身全霊を込めて診療したいと思っています。その時間を多く頂きたいため、はじめはコンタクトレンズを当院では扱わないことにしました。

医師として心がけていることを教えてください。

一生懸命やることに尽きます。全精力を注いで患者さんの訴えをよく聞き、訴えのないことも見つけられたらと思います。自覚していないだけで実は重い病気だった、ということは眼科に限らずよくあります。それが、緑内障であり糖尿病網膜症です。当院では、光干渉断層計(OCT)などの最新の機器も導入し、診断治療にあたります。どのようなクリニックを目指していきますか。

スタッフそして患者さんが幸せなクリニックです。まずはスタッフがや

りがいを持ち、働いて幸せだと思ってもらえる職場にしたいと考えています。その思いがあれば一生懸命仕事に取り組めるはずですし、患者さんの幸せにもつながります。私は幼稚園のとき入院したのがきっかけで医師を志すようになりました。そのころに描いていた患者さんもスタッフもハッピーになれる病院を作りたいという思いは、今も変わらないことありません。



所在地 千里ガーデンクリニックビル 3F

TEL 06-6170-8020

■休診日：土曜日午後、日曜日、祝日
▲完全予約診療です。通常の外来受付は行っていません。

	診療時間		
	9:00~11:30 (午前外来)	13:30~15:30 (検査・処置)	16:00~18:30 (午後外来)
月	●	▲	●
火	●	手術	
水	●	▲	●
木		手術(隔週)	
金	●	▲	●
土	●	×	×

おかだ眼科 内覧会開催

4月29日(日)

時間
10:00
~
13:00

2012年5月1日のオープンに先立ち、4月29日(日)に「内覧会(見学会)」を開催いたします。どなたでも自由にご参加いただけますので、ぜひお立ち寄りください。当日お越しの皆さまには、当院の医療機器などを紹介いたします。



受付



明るく清潔感のある検査室



最新の医療機器OCT



視能訓練士による動的視野検査